

令和3年3月27日

令和2年度 学校評価 自己評価書（年間）

1 学校の重点目標

○ 確かな学力の育成と表現力の向上
○ 人権尊重の精神に基づいた心の教育の充実
○ 体力の向上と健康・安全指導の充実
○ 特別支援教育の充実

2 課題と改善策（職員）

※ 数値は4段階評価の平均

	評価項目	1学期	2学期	3学期	評価結果と改善方策
重点項目	1 確かな学力の育成と表現力の向上	2.9	3.4	3.1	○ 何をどのように予習するかを自覚させる指導過程・内容の実際について検証を図る必要がある。 ○ 児童一人一人に対する支援を児童理解を基に深める必要がある。 ○ 評価の在り方を研究する必要がある。
	2 全教育活動を通じた人権同和教育の推進	3.0	3.4	3.3	
	3 基礎・基本の定着と、補充・発展的な指導	3.5	3.5	3.1	
	4 特別支援教育の充実	3.1	3.4	3.1	
生徒指導	1 一事徹底（立ち止まって礼）の指導	2.9	3.4	3.3	○ 地域における挨拶，児童同士の挨拶について考えを深めさせる必要がある。 ○ 児童の主体的な活動の場を増やす。 ○ 緑化活動において，教児一体となった取り組みを続ける必要がある。
	2 いじめや差別のない学級づくり	3.1	3.4	3.2	
	3 教育相談の計画的な実施	2.8	3.4	3.4	
	4 自主的・主体的な活動の推進	3.1	3.4	3.2	
学力向上	1 複式指導の充実を図る	3.0	3.5	2.7	○ 予習型授業と複式指導の融合を図る。 ○ タブレットパソコンや，ICT機器活用の充実を図るために，校内ガイドラインの設定や，外部への説明責任を果たす。 ○ 情報モラル教育計画に従った指導の実施。
	2 主体的・対話的で深い学びの視点に立った学習過程の質的改善	3.0	3.3	3.1	
	3 ICTの活用を通じた授業改善	2.7	2.9	2.8	
心の教育	1 全教育活動を通して，道徳性の向上を図る。	3.0	3.3	3.2	○ 各行事における作文を評価し，交流することで，心の成長を自覚化させることができた。 ○ 心の教育の手法や，カウンセリングマインドに基づいた教育相談の在り方についてSC・巡回相談等を受ける。
	2 節度や節制のある行動のできる児童の育成を目指す。	3.0	3.3	3.2	
	3 いじめや差別を許さない，人権尊重の心の育成	3.4	3.4	3.3	
体力向上	1 教科体育・教科外体育の充実	3.5	3.4	3.0	○ 児童が主体的に行うランニングと，なわとび運動の継続を図る。 ○ 感染症対策を徹底するとともに，給食係，調理嘱託員と連携し，児童自ら育てた作物をいただく。
	2 施設設備の安全点検の実施や，危険箇所早期発見と改善	3.3	3.3	3.3	
	3 給食指導の徹底	3.4	3.5	3.4	
教育環境	1 児童作品による教室や廊下・特別教室等の設営の適宜更新	3.0	3.2	3.0	○ 適切な備品整理と掲示物の更新を進める。 ○ 購入と廃棄の管理の徹底を図る。
	2 備品等の使いやすい状態での管理	2.6	3.3	3.2	

3 次年度に向けての取組

- 桜島のよさを感じ取ることのできる，郷土色豊かな教育課程の実施（総合的な学習の時間の充実）
- 学校教育目標の重点について具現化を図るとともに，令和4年度教育課程の編成に向けた修正を毎月実施する。
- 自己の目標を明確にした学習活動や体力づくりの徹底を図るとともに，新型コロナウイルス感染症予防に努める。
- GIGA スクール構想を具現化するための指導計画の実施と検証を行うとともに，教育の情報化における研究公開を実施する（令和4年2月公開）。